

3月定例会
2月22日～3月18日

25年度予算が成立・子育てを応援！

祇園保育所の建て替えと 指定管理者制度の導入へ



祇園保育所

今定例会では、「平成25年度一般会計予算」や「保育所条例の一部改正」など、市長提出議案25議案と「政務調査費の交付に関する条例の一部改正」など委員会提出議案4議案が提出されました。議長を除く21人の議員での採決の結果、原案のとおり同意・可決しました。



主な議案審議(本会議)

祇園保育所を指定管理者に移行

◆保育所条例の一部を改正
祇園保育所の効果的な運営を行うため、指定管理者制度を導入するもの

《賛成多数(17人)で原案可決》
Q 指定管理者制度導入の目的は。
A 限られた財源を有効利用するため、これまで以上に財政面での効率性を追求しながら、質のよい保育サービスを確保すること。

Q 利用者のメリットは。
A 制度の導入で節減できるコストを病後児保育や休日保育、延長保育の拡大などに振り分けることで、多様なニーズに応えられる。

Q 指定管理者の選考は。
A 公募で行う。社会福祉法人、学校法人に限定し、保育専門の知識経験者2名の外部委員に参加いただき、専門的な視点も踏まえ審議選考を行う。

ユースプラザを廃止

◆勤労青少年ホーム条例の廃止
働く青少年向け施設の勤労青少年ホーム(ユースプラザ)を廃止

《総員賛成で原案可決》
Q ユースプラザの廃止後、時に支援するもので、1団体につき30万円が限度。

平成25年度予算

◆平成25年度一般会計予算
《賛成多数(18人)で原案可決》

歳入

Q 個人市民税は年々落ち込んでいるが、市民の平均所得の設定額は。
A 個人市民税の約80%を占める給与所得者の給与収入の伸びをマイナス2%と見込んで算定している。

Q 待機児童の見込みは。
A 4月で80人前後、来年3月も今年度と同程度と見込んでいる。

Q 避難所となる小・中学校に太陽光発電を設置すると、年間の発電量と電気料金はどの位か。
A 1施設あたりの年間発電量は約1万kW/h、小・中学校の電気量の約9%を賄え、金額にすると約25万円分の節電になる。

歳出

Q 放置自転車撤去後、持ち主が引き取りに来なかった場合の処分方法は。
A リサイクルが可能なのは、自転車軽自動車商組合狭山支部に売却。それ以外は入札で民間業者に売却している。

Q 狭山茶の信頼回復のイベントなどは考えているか。
A 市民のアイデアによる狭山市駅西口の横断幕や公民館での親子料理教室など。

Q さやまっこ相談員や支援員の効果は。
A いじめの早期発見、不登校の未然防止に貢献。また、思春期の生徒が、教員に相談できない場合の対応でも効果をあげている。

福祉

Q 民間保育所施設整備補助金で保育所ができるが、いつどこにどの位の規模でオープンするのか。
A 上広瀬にある約1990㎡の土地に、定員90名の施設が26年4月に開園する。

Q 入曽駅東口開発事業の具体的な手法の方向性は。
A 駅前広場、道路、公園など公共施設の整備と宅地の環境改善を一体的に行う必要があるため、土地区画整理事業を基本に考えている。

◆狭山市駅東口土地区画整理事業特別会計
《総員賛成で原案可決》
Q 事業の進捗状況は。
A 駅前広場の道路接続状況は、見込みより遅れるが、25年度末の完了を目指す。

3月定例会のポイント

25年度予算 地域に根付いた行政運営を目指す

平成25年度予算は、第3次狭山市総合振興計画後期基本計画の取り組みを効果的に推進できるように予算配分しています。

◆主な重点施策

- 地域バランスに配慮しながら進める『民間保育所施設整備補助事業』
- 窓口業務の効率化を進める『総合窓口対応システム構築事業』
- 道路網の充実を図る『狭山市駅上諏訪線の整備事業』
- 防災・減災対策として『校舎等の屋上を利用した太陽光発電システムの設置事業』
- 学校や幼稚園・保育園などを携帯電話のメールで結ぶ『さやまっ子緊急メール配信事業』



出演者と観客が一体となった
ユースプラザのFINALフェスティバル

働く青少年の余暇活動の機会と場の提供は。
A 余暇活動の機会は、産業労働センターをはじめ、市民交流センターや公民館、勤労福祉センターなどの公共施設を利用して、勤労青少年向けの趣味や教養講座などを継続して行う。また、余暇活動などの場の提供は、産業労働センターや市民交流センターなどの公共施設の利用を促進していく。